

果	樹
---	---

ナシ 95	キュウイフルーツ 105
ブドウ 97	リンゴ 107
カキ 99	ブルーベリー 109
ウメ 101	モモ 111
クリ 103	早生温州 113

凡 例

生 育

♂ 発芽

☼ 落葉

♀ 開花

管 理

◎ 定植

♣ 深耕・断根

✂ 剪定

□ 収穫

☞ 摘果・摘粒

★ 基肥

☕ かん水

☆ 追肥

▨ 管理作業

▨ 施肥作業

ナシ (7年生以上成木)

栽培型

栽植密度: 黒ボク土20、灰色低地土33本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地 平棚 2~4本三枝												
基準収量: t	幸水2.5~3.0、豊水・稻城3.0~3.5、新高3.5											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土壌	黒ボク土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥
施肥基準				
基肥	13	13	6	2,000
追肥(1)	2	—	5	—
追肥(2)	4	5	5	—
計	19	18	16	2,000

土壌	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥
施肥基準				
基肥	12	10	6	2,000
追肥(1)	3	—	5	—
追肥(2)	4	5	5	—
計	19	15	16	2,000

施用上の留意事項

- ① 幸水は、追肥(2)を収穫直後に行うように努める。
- ② 新高は、追肥(2)を樹勢に応じて10~20%増肥する。
- ③ 深耕は、30~50cmの深さを目安に行う。
- ④ 深耕時、計画的に完熟堆肥を溝、穴など局所に施用する。
- ⑤ 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ⑥ 適正pH6.0~6.5の維持に努める。

ナシ (6年以下未成木)

栽培型

栽植密度: 黒ボク土40、灰色低地土66本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地 平棚 2~4本主枝 1年目												
2年目以降												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土壌	黒ボク土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥
施肥基準				
1,2年	2	6	2	1,000
3,4年	4	9	4	1,000
5,6年	8	13	8	1,500

土壌	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥
施肥基準				
1,2年	2	4	2	1,000
3,4年	4	6	4	1,000
5,6年	8	9	8	1,500

施用上の留意事項

- ① 新植園では、土壌診断に応じて、30~50cmの深さまで各種改良資材を施用する。
- ② 堆肥は、完熟したものを良く混ぜて植え穴に入する。
- ③ 結果を始めたら、収穫量を考慮し、成木に準じて追肥する。
- ④ 計画的な深耕を行い、細根の発生を促進する。

ブドウ (5年生以上成木)

栽培型

栽植密度: 8本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地												
X字整枝												
基準収量: t	無核栽培 (高尾・巨峰群品種) 1.5、有核栽培 (巨峰群品種、紅伊豆) 1.0~1.5											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ボ ク 土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
基 肥	7	12	7	2,000
追 肥	1~3*	—	—	—
計	7~10	12	7	2,000

土 壌	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
基 肥	9	10	7	2,000
追 肥	1~3*	—	—	—
計	9~12	10	7	2,000

*: 無核栽培のみ、樹勢に応じて適用する。

施用上の留意事項

- ① 強樹勢、花振り、着色不良の場合は、窒素肥料を減らす。
- ② 深耕は、30~50cmの深さを目安に行う。
- ③ 深耕時、計画的に完熟堆肥を溝、穴など局所に施用する。
- ④ 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ⑤ 適正pH6.0~7.0の維持に努める。

ブドウ (4年生以下未成木)

栽培型

栽植密度: 32本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地												
X字整枝												
1年目												
2年目以降												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ボ ク 土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
1,2年	0	1	0	1,000
3,4年	2	3	2	1,500
基 準				

土 壌	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
1,2年	1	1	1	1,000
3,4年	3	2	3	1,500
基 準				

施用上の留意事項

- ① 新植園では、土壌診断に応じて、30~40cmの深さまで各種改良資材を施用する。
- ② 堆肥は、肥料分の少ない完熟したものを植え穴に施用する。
- ③ 収穫時の新梢長の目安を無核栽培1.5~2.0m、有核栽培1.0~1.5mとし、窒素量を調節する。
- ④ 黒ボク土で強樹勢の場合は、4年目まで窒素無施肥でもよい。
- ⑤ 結実を始めたなら、樹勢を考慮し、成木に準じて追肥する。
- ⑥ 計画的な深耕を行い、細根の発生を促進する。

カキ (7年生以上成木)
栽培型 栽植密度: 30本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地				∞		☉	☉	☉			☉	☉
低樹高仕立て (3.5m以下)	☉	☉				☉	☉	☉			☉	☉
基準収量: t	次郎・富有・東京御所 2.0~2.5											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壤	黒 ぼ け 土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
基 肥	6	13	9	2,000
追 肥	(1)	5	—	2
	(2)	3	—	2
計	14	13	13	2,000

土 壤	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
基 肥	9	11	9	2,000
追 肥	(1)	5	—	2
	(2)	3	—	2
計	17	11	13	2,000

施用上の留意事項

- ① 堆肥は、溝、穴など局所施用を計画的に行う。
- ② 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ③ 適正pH6.0~6.5の維持に努める。
- ④ 着色不良、熟期の遅れは、窒素量を調節する。

カキ (6年以下未成木)
栽培型 栽植密度: 60本/10a

月・旬	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地 1年目		☉	☉		☉	☉	☉					
2年目以降		☉	☉		☉	☉	☉					

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壤	黒 ぼ け 土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
1,2年	0	1	0	1,000
3,4年	4	3	3	1,000
5,6年	8	6	6	1,500

土 壤	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥				
1,2年	1	0	0	1,000
3,4年	4	2	3	1,000
5,6年	8	5	6	1,500

施用上の留意事項

- ① 寒害が予想される地域では、春定植とする(栽培型*印)。
- ② 二次伸長が顕著で樹勢が強い場合は、結実があるまで剪定、窒素施肥を控え、早期結実を促進する。
- ③ 新植園では、土壌診断に応じて、30~40cmの深さまで各種改良資材を施用する。
- ④ 結実を始めたら、樹勢を考慮し、成木に準じて追肥する。

ウメ (7年生以上成木)

栽培型

栽植密度: 20本/10a

作型名	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下
露地 開心自然形 または 低樹高仕立て (3.5m以下)												
基準収量: 1.5t	白加賀・玉英・梅郷											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壤	黒 ぼ く 土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥	7	9	8	1,500
基 準	追肥(1)	5	4	—
	(2)	—	—	—
	(3)	5	—	4
計	17	13	12	1,500

土 壤	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥	5	7	6	1,500
基 準	追肥(1)	5	4	—
	(2)	2	—	2
	(3)	5	—	4
計	17	11	12	1,500

施用上の留意事項

- ① 堆肥は、溝、穴など局所施用を計画的に行う。
- ② 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ③ 適正pH5.5~6.0の維持に努める。

ウメ (6年以下未成木)

栽培型

栽植密度: 40本/10a

作型名	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下
露地 1年目												
2年目以降												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壤	黒 ぼ く 土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥	1	1	1	1,000
基 準	1,2年	1	1	1,000
	3,4年	4	3	1,000
	5,6年	8	6	1,500

土 壤	褐色森林土または灰色低地土			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥	1	1	1	1,000
基 準	1,2年	1	1	1,000
	3,4年	4	2	1,000
	5,6年	8	5	1,500

施用上の留意事項

- ① 定植時には、乾燥・寒害対策に努める。
- ② 新植園では、土壌診断に応じて、30~40cmの深さまで各種改良資材を施用する。
- ③ 結実を始めたら、収穫量を考慮し、成木に準じて追肥する。

クリ (7年生以上成木)

栽培型

栽植密度: 30本/10a

月・旬	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下
露地												
低樹高仕立て (3.5m以下)												
基準収量: t	国見、筑波、利平0.25~0.30											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土壌	黒ボク土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥	
施肥基準	基肥	8	10	8	1,000
	追肥(1)	6	—	4	—
	計	14	10	12	1,000

土壌	褐色森林土または灰色低地土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥	
施肥基準	基肥	10	8	8	1,000
	追肥(1) (2)	4 2	— —	2 2	— —
	計	16	8	12	1,000

施用上の留意事項

- ① 堆肥は、樹冠下に施用する。
- ② 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ③ pH5.0~5.5維持に努める。
- ④ 収穫時の新梢長の目安を1.0~1.5mとし、窒素量を増減する。

クリ (6年以下未成木)

栽培型

栽植密度: 50本/10a

月・旬	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下
露地												
1年目												
2年目以降												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土壌	黒ボク土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥	
施肥基準	1,2年	1	1	1	1,000
	3,4年	4	3	3	1,000
	5,6年	8	6	6	1,000

土壌	褐色森林土または灰色低地土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥	
施肥基準	1,2年	1	1	1	1,000
	3,4年	4	3	3	1,000
	5,6年	8	6	6	1,000

施用上の留意事項

- ① 定植時には、寒害対策に努める。
- ② 新植園では、土壌診断に応じて、30cm程度の深さまで各種改良資材を施用する。
- ③ 結実を始めたら、収穫量を考慮し、成木に準じて追肥する。

キウイフルーツ (7年生以上成木)
栽培型 栽植密度: 16本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地				φ		φ						φ
平棚 X字整枝												
基準収量: t	ヘイワード 1.5~2.0											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ボ ク 土				
施 肥 基 準	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
基 肥	9	7	7	1,000	
追肥(1)	3	—	3	—	
追肥(2)	3	5	3	—	
計	15	12	13	1,000	

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
施 肥 基 準	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
基 肥	10	6	7	1,000	
追肥(1)	4	—	3	—	
追肥(2)	4	4	3	—	
計	18	10	13	1,000	

施用上の留意事項

- ① 強樹勢の場合は、窒素肥料を減らす。
- ② 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ③ 適正pH6.0~7.0の維持に努める。
- ④ 堆肥は、樹冠下、株元などにマルチ資材として施用する。
- ⑤ 雄株は、施肥対象株とみなさない。

キウイフルーツ (6年以下未成木)
栽培型 栽植密度: 33本/10a

月・旬	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作型名	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
露地 X字整枝 1年目		○	○	φ				φ				φ
2年目以降		○	φ	φ				φ				φ

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ボ ク 土				
施 肥 基 準	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
1,2年	0	1	1	1,000	
3,4年	3	3	3	1,000	
5,6年	8	6	6	1,000	

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
施 肥 基 準	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
1,2年	2	1	1	1,000	
3,4年	4	3	3	1,000	
5,6年	10	5	6	1,000	

施用上の留意事項

- ① 新植園では、土壌診断に応じて、30~40cmの深さまで各種改良資材を施用する。
- ② 結実を始めたら、樹勢を考慮し、成木に準じて追肥する。
- ③ 雄株への施用は、控え目にする。
- ④ 蕾の着生が無い場合は、窒素肥料を減らす。

リンゴ (7年生以上成木)

栽培型

栽植密度: 50本/10a

作型名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地																									
わい化栽培																									
トレリス																									
基準収量:	t つがる、千秋、陽光、ふじ 2.5~3.0																								

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ぼ く 土				
施 肥	基 肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
		5	7	4	2,000
基 準	追肥(1)	3	—	3	—
	(2)	2	—	—	—
	計	10	7	7	2,000

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
施 肥	基 肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
		6	6	4	2,000
基 準	追肥(1)	4	—	3	—
	(2)	2	—	—	—
	計	12	6	7	2,000

施用上の留意事項

- ① つがるは、追肥(2)を収穫直後に行うように努める
- ② ふじは、樹勢が強い場合は、追肥(2)をおこなわない。
- ③ 堆肥は、溝、穴など局所施用を計画的に行うように努める。
- ④ 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ⑤ 適正pH6.0~6.5の維持に努める。
- ⑥ 黒ボク土の追肥(2)は、新梢の生育状態から施肥の有無を判断する。
- ⑦ 深耕は、40~60cmを目安に計画的に行う。

リンゴ (6年以下未成木)

栽培型

栽植密度: 100本/10a

作型名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地わい化栽培																									
1年目																									
2年目																									
3年目以降																									

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ぼ く 土				
施 肥	1,2年	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
		0	1	1	1,000
基 準	3,4年	2	2	2	1,000
	5,6年	5	4	4	1,500

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
施 肥	1,2年	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
		1	1	1	1,000
基 準	3,4年	3	2	2	1,000
	5,6年	6	4	4	1,500

施用上の留意事項

- ① ふじは、窒素無施用でもよい。
- ② 新植園では、土壌診断に応じて、50cm程度の深さまで各種改良資材を施用する。
- ③ 結果を始めたら、樹勢を考慮し、成木に準じて追肥する。
- ④ 深耕は、計画的に行い細根の発生を促進する。
- ⑤ 植付け時に、台木部分が地表面に出るように定植する。

ブルーベリー（7年生以上成木）

栽培型

栽植密度：黒ボク土 100、灰色低地土 165本/10a

月・旬	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下
露地												
基準収量：	t ラビットアイ系品種 0.6~1.0、ハイブッシュ系品種 0.4~0.5											

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ボ ク 土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	基 肥	4	6	4	1,500
	追 肥	1	—	1	—
	計	5	6	5	1,500

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	基 肥	4	5	4	1,500
	追 肥	2	—	1	—
	計	6	5	5	1,500

施用上の留意事項

- ① 施肥による濃度障害に弱いことに留意する。
- ② 堆肥、おがくず、チップなどでマルチし、乾燥防止に努める。
- ③ ハイブッシュ系品種は収穫直後に追肥を行う。
- ④ 適正pH5.0~5.5の維持に努める。

ブルーベリー（6年以下未成木）

栽培型

栽植密度：黒ボク土 200、灰色低地土 330本/10a

月・旬	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下
露地												
1年目												
2年目以降												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ボ ク 土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	1,2年	0	1	1	1,500
	3,4年	1	2	2	1,500
	5,6年	3	3	3	1,500

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	1,2年	1	1	1	1,500
	3,4年	2	2	2	1,500
	5,6年	4	3	3	1,500

施用上の留意事項

- ① 新植園では、土壌診断に従い30cm程度の深さまで、硫黄華、ピートモス（良く湿ったもの）などの酸性資材をよく攪拌して施用し、適正pH5.0~5.5の維持に努める。
- ② 植付け後は、おがくず、チップなどでマルチし、乾燥防止に努める。
- ③ 施肥による濃度障害に弱いことに留意する。
- ④ 結果が見られたら、樹勢を考慮し、成木に従い施用する。

モモ (7年生以上成木)

栽培型

栽植密度: 20本/10a

作型名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
露地 開心自然形																										
基準収量:	t 白鳳、大久保、あかつき 2.0~2.5																									

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ぼ く 土				
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥 基 準	基 肥	8	6	8	2,000
	追 肥	4	—	2	—
	計	12	6	10	2,000

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥 基 準	基 肥	8	5	8	2,000
	追 肥	6	—	2	—
	計	14	5	10	2,000

施用上の留意事項

- ① 灰色低地土では、基肥の一部を3月上中旬に分施してもよい(栽培型*印)。
- ② 堆肥は、溝、穴など局所施用を計画的に行う。
- ③ 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ④ 適正pH5.5~6.0の維持に努める。

モモ (6年生以下未成木)

栽培型

栽植密度: 40本/10a

作型名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
露地 1年目																								
2年目																								
3年目以降																								

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ぼ く 土				
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥 基 準	1,2年	2	2	2	1,000
	3,4年	4	3	4	1,000
	5,6年	8	4	6	1,500

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥
施 肥 基 準	1,2年	2	1	2	1,000
	3,4年	5	2	4	1,000
	5,6年	9	3	6	1,500

施用上の留意事項

- (1) 新植園では、土壌診断に応じて、60cm深程度まで各種改良資材を施用する
- (2) 灰色低地土での改植の場合は、植え穴の深さを30cmにし、地表より30cm高く盛土定植とする
- (3) 定植時には排水性、乾燥や寒害を考慮する
- (4) 結実を始めたなら、収穫量を考慮し、成木に準じて追肥する

早生温州 (7年生以上成木)
栽培型 栽植密度: 75本/10a

作型名	月・旬											
	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下
露地												
基準収量: 3 t 宮川早生、興津早生												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ぼ く 土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	春 肥	4	14	3	2,000
	夏 肥	10	—	3	—
	秋 肥	6	—	5	—
	計	20	14	16	2,000

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	春 肥	5	12	3	2,000
	夏 肥	12	—	8	—
	秋 肥	3	—	5	—
	計	25	12	16	2,000

施用上の留意事項

- ① 堆肥は、1～3月に施用する。
- ② 収穫後は、土壌診断に従い、土壌改良資材を堆肥とともに施用する。
- ③ 適正pH6.0の維持に努める。

早生温州 (6年生以下未成木)
栽培型 栽植密度: 150本/10a

作型名	月・旬											
	1月 上中下	2月 上中下	3月 上中下	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下	12月 上中下
露地 1年目												
2年目以降												

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土 壌	黒 ぼ く 土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	1,2年	2	2	2	1,000
	3,4年	5	4	4	1,000
	5,6年	10	8	8	1,500

土 壌	褐色森林土または灰色低地土				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆 肥	
施 肥 基 準	1,2年	4	1	2	1,000
	3,4年	8	3	4	1,000
	5,6年	16	6	8	1,500

施用上の留意事項

- ① 定植時には、寒害対策に努める。
- ② 新植園では、土壌診断結果に応じて、各種改良資材を施用する。
- ③ 結実を始めたら、収穫量を考慮し、成木に準じて追肥する。